

## 2026年 6月度 売上速報

## ■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店	117.1
阪神梅田本店	110.9
支店計	100.6
全店計	110.5

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、月次の売上速報および営業概況につきましては、当該基準等適用前の取扱高で開示しております。

## ○ 全店の概況

- ・ 月初・月末に台風の影響があったものの、全店の売上高は前年に対して約1割増と4月以降2ヶ月伸長が継続。都心店が概ね全店前年の売上高を上回り好調で、中でも阪急本店と阪神梅田本店が3ヶ月連続で共に2ヶ月増と牽引。国内顧客の売上高は前年に対して約1割増と高伸し、免税売上高も約3割増と大きな伸びを示した。
- ・ インバウンドについては、中国からの観光客の売上高は前年の約3割減と厳しい状況が続くものの、中国を含む海外VIPは約4割増と前年を大きく上回り、免税売上高全体として4ヶ月連続で前年を上回った。
- ・ 阪神梅田本店は前年5月の上層階(2～8階)リニューアルから1年が経過したが、前年の売上高に対して約1割増と好調が継続。ファッション・ライフスタイルカテゴリー、食品共に売上高は前年に対して約1割増と引き続き高い伸びを示した。

## ○ 阪急本店の概況

- ・ 国内顧客の売上高が前年に対して約1割増と高伸し、同じ月の対比において6ヶ月連続で過去最高を更新。免税売上高も前年の約3割増と引き続き高い伸びで推移し、店舗全体としても約2割増と好調な結果。
- ・ 5・6階『HANKYU LUXURY』が引き続き全体の売上を牽引。インターナショナルブティックが前年の売上高に対し約5割増、宝飾品・時計も約5割増と高伸。特に新作イベントを開催した時計が、リニューアルで拡充した接客環境も奏功し売上高が前年の約6割増と大きな伸びを示した。全館の100万円以上の高額品売上高も前年に対し約7割増と高伸。また、引き続きプライベートの好調なアクセサリも約4割増と大きく売上を伸ばした。
- ・ 上旬に梅雨入りし、最高気温も25℃を上回る日が大半で、初夏のファッションが本格稼働。モードファッションや婦人靴では5月に続き前年の売上高に対して2ヶ月増と大きく伸長。アイテムではカットソーやブラウス、パラル、サンダルが引き続き好調。

## ※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2025年度												2026年度	
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
阪急本店	81.8	86.6	103.1	99.2	104.9	100.7	93.2	100.7	95.9	107.0	111.7	117.0	117.1	
阪神梅田本店	109.2	106.6	118.3	134.0	112.7	122.9	107.4	136.5	126.3	119.2	127.2	126.0	110.9	
支店計	92.8	94.3	104.1	99.4	102.6	102.8	97.1	101.4	99.0	101.5	105.1	108.6	100.6	
全店計	87.9	91.2	105.1	103.2	104.9	103.6	96.0	104.1	99.8	106.4	110.9	115.1	110.5	

## ■ 食品事業

食品スーパー計	売上高前年比(%)
既存店計	98.7

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じることがあります。

<本件に関するお問い合わせ先>  
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL:06-6367-3181